

販路拡大対策事業【拡充】

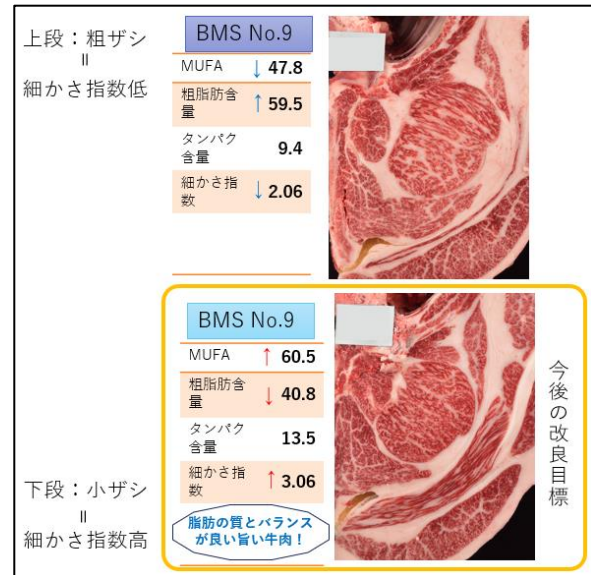
【令和8年度予算額 18,000千円】

1 背景と目的

これまでの牛肉ブランドは、地域や農場などの産地を単位とし、A5、A4といった「サシ（脂肪交雑）」の量で評価・PRするプロダクトアウトの取組がほとんどであった。

今後、消費者ニーズが変化する中で和牛肉の販売を拡大していくためには、マーケットインの視点で肉質を評価し、改良にも活用できる新たな指標を確立するとともに、これを活用したブランド戦略の構築にいち早く取り組む必要がある。

また、島根県内の耕畜連携を促進するため、耕畜連携 SDGs 製品の構築に対する県内事業者の取組を推進する。



2 事業内容

(1) しまね和牛新ブランド構築推進事業

「しまね和牛」に新たな美味しさ評価指標（脂の質と細かな霜ふり）を付加し、事業者と連携して「しまね和牛」ブランド牛肉の認知度の向上と販路拡大の取組を推進する。

- ① 新たな美味しさ評価指標の PR イベント・宣伝費用 など

予算額：12,000 千円

- ② 新たなブランド戦略に基づき県外や海外に販売を拡大しようとする県内事業者（食肉卸、食肉販売、農場等）の取組を支援

予算額：3,000 千円（補助率 1/2 以内、上限 1,500 千円/件）

(2) SDGs ブランド構築支援

耕畜連携 SDGs 製品の販売体制の構築に必要な経費を支援

予算額：3,000 千円（補助率 1/2 以内、上限 1,500 千円/件）